



協力隊通信

家財 綾
加藤絵美



移住者インタビュー③なんばみえ難波美恵さん(小白川)

今回は、2019年9月に東京都から移住された難波美恵さんをご紹介します！
初来町から移住を検討し、約3年。住まいが決定し、晴れて移住し半年ほどが経ちました。今後の展望や町の魅力などについてお伺いしました。

「飯豊町を知ったきっかけを教えてください」

山形県について調べていた時、偶然飯豊町の移住体験ツアー「帰郷希望女子応援プロジェクト」飯豊とふれあい、つながる旅」を発見。驚きのツアー価格で、申し込もうとしたらぎりぎり空いていたので即決しました。名前も知らない、読み方もわからなかった町の移住ツアーに参加してみようという好奇心でした。

「初めての来町からどのくらいの期間で移住されましたか」

夏2回、冬1回移住体験ツアーに参加しました。その後も農家民宿宿泊、中津川雪まつりへの参加、黒べこ祭りに遊びに来たり、農業体験や住まいも探しながら3〜4月に1回通いました。そうこうしている間に新型コロナウイルス感染症が広がり、東京の狭いマンションに一人で黙々とパソコンに向かって仕事をしている自分と、会員制交流サイト(SNS)を見ていると、のびのびとした生活をしている飯豊町の人たちとのギャップにがくぜんしました。いつか飯豊町に住めたらいいかなと漠然と考えていましたが、コロナが最終的な後押しとなり、最初の緊急事態宣言下で売り出された空き家を内覧し、購入を決めました。

「移住してみて町内での生活はどうですか」

何年も通ううちに知り合いができ、その上で移住を決めたので不安はありませんでした。毎日が楽しく、自然がいっぱいで、おいしいものもたくさんあり、控えめに言って最高です！

「今後の展望を教えてください」

もともと飯豊町に来るにあたり、飯豊町にないもので自分ができることを仕事にしたいと思っていました。飯豊町も含め、近隣の町にもパン屋さんが少ないので、空き家バンクで購入した家を改装し、一人でできる小さなパン屋さんをちよつとしたおかずも食べられるお店を作りたいなと思い、年内の開業に向けて準備中です。

「最後に、飯豊町の魅力は何だと思えますか」

「人」です。びつくりするくらい優しく、気にかけて、いろいろなことを教えてくださいます。とにかく人が良いです。それから自然、食べ物、米、酒。東京と同様に、飯豊町にも十分いろいろなものがあるので、何も不自由・不便なく、毎日充実しています。飯豊町はとても素晴らしい町だと思います。生活しています。

「インタビューを通して、難波さんの充実した生活について知ることができてうれしかったです。難波さんありがとうございました」

移住定住コンシェルジュ 家財 綾
◇空き家・移住相談実績

(4月21日〜5月20日)
・移住相談件数 8件
・空き家バンク問い合わせ件数 19件

アウトドア指導など 加藤 絵美

・白川湖・水没林でのカヌー案内
・置賜地域おこし協力隊ミーティングへの参加

・やまがたアルカディア観光局 Presentation ライク・ア・バードokitama撮影に参加

・飯豊町PR動画『町長が行く・後編』公開ほか

5月の連休は、白川湖もにぎわい、水没林でカヌーを楽しまれる方も多くいらっしゃいました。昨年できなかったことが少しずつできるようになるのは、ありがたいことだと実感しました。

